

Maigrón, Louis. Le romantisme et la mode d'après des documents inédits. Paris, Ancienne Honoré Champion, 1911. 250p. plates (photo) 22.5×14.5 cm <383-M>

Hiler p. 562 Colas 1946

19世紀前半の西洋で一世を風靡したロマン主義のモードに関する書である。著者メグロンはクレルモン・フェラン大学の教授で本書扉頁の紹介によれば、先に『ロマン主義時代の歴史小説、ウォルター・スコットの影響』、『フォントネルの人と作品とその影響』、『ロマン主義と風俗』などを著わしている。文学に造詣の深い作家なのであろう。

序文には、歴史的事象の存在した環境、風土へのテーマ流の強い関心、つまり文学に始まったロマン主義を取り巻いた人間生活の多岐に渡る分野での、ロマンティックな風潮全体への探究心が明らかにされている。そして「ロマン主義の社会的影響に関する研究は、モードにおけるロマン主義の観察を抜きにしてはなし得ない」として、移ろいやすく、気まぐれで、著者の言葉を借りるならば外見よりもはるかに困難なモードに関して、その経過を捉えることを本書の目的としている。芸術作品内部にとどまらず、その芸術家や心酔者たちの生活態度にまでかかわったこの時期のロマン主義の研究としては、必然的な姿勢と言えよう。

内容は第1章・女性の服装、第2章・男性の服装、第3章・室内装飾と建築、第4章・ロマンティックな優雅さ、第5章・ロマンティックな風潮、から成っている。いずれもロマン主義を反映したと思われるいくつかのフランスに現れた現象をとりあげ、同時代の小説、演劇、その他の文章の記録、及びファッション・プレートの観察によって、それぞれの発生と伝播の過程をつづっている。なかでも女性のジゴ袖、帽子、男性のひげ、また喫煙、痛飲の習慣に関して詳細である。挿入された24枚の図版は、素描、版画、ファッション・プレートなどからの複写である。(能沢)